

教えて! **上野千鶴子**さん

ジェンダー研究から学ぶ **私**たちは どう**生きる**か



コロナ禍において、日本社会のジェンダーに起因する様々な課題が明らかになりました。社会に潜む差別や偏見を洗い出し、一人ひとりが自分らしい選択をする力、知恵や感性を磨くヒントをお話いただきます。

日時 **2021年 11月3日** **水祝**

14:00~16:00

講師 **上野千鶴子**さん

(社会学者・東京大学名誉教授)

申込開始日: 10月1日(金) 午前 9:00~

会場 オンライン開催(Zoom ウェビナー)

定員 100名(事前申込先着順)

対象 大田区在住、在勤、在学の方

締切 10月31日(日)必着

参加費 無料

手話通訳あり



菅野勝男撮影

お申込みは
こちら



※本講演会はオンラインのみの開催です。会場での受講はできかねますのでご了承ください。

主催：大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

上野千鶴子さん

プロフィール

社会学者・東京大学名誉教授・

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長

富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。

平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。第20-22期学術会議会員。第23-25期日本学術会議連携会員。

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。『女の子はどう生きるか 教えて、上野千鶴子先生!』(岩波書店)、『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください!』(共著 大和書房)、『女ざらい ニッポンのミソジニー』(朝日新聞出版)など著書多数。

1994年、『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞。

2011年度、「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」

2019年、フィンランド共和国からHän Honours受賞(長年の男女平等への貢献に対する感謝状)

2020年、「アメリカ芸術科学アカデミー会員」に選出される。

★講演会ご参加にあたっての注意事項★

- ・この講演会はZoomウェビナーによるオンライン講演会です。
- ・講演会当日までに、Zoomウェビナー参加用のURLをメールでお送りします。
- ・録音・録画・撮影、個人情報に関わる内容のSNS等への投稿は固く禁じます。
- ・インターネット接続費用、通信費用等は、参加者の負担になります。
- ・参加者の端末(PC、スマートフォン等)環境やインターネット通信状況によっては、ご参加いただけない場合や、接続が不安定(映像や音声乱れや遅延等)になる場合がございます。あらかじめ受講環境をご確認ください。

申込み方法

申込開始日:10月1日(金) 午前9:00~

「エセナフォーラム2021」専用ホームページよりお申込みください。

[エセナフォーラム2021専用ホームページ]
<https://escenaota.jp/forum2021/>

*申込後に必ずこちらから返信をします。
申込後3日を過ぎても返信がない場合は必ず電話でお問合せください。

*個人情報は講座目的と今後の講座案内以外には使用しません。



申込先・問合せ先

大田区立男女平等推進センター

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4

「エセナおおた」

TEL 03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

☒ escenakouza@escenaota.jp



ホームページ



Twitter



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

